

# 日本最古の修験の道「葛城二十八宿」再興プロジェクトを 日本遺産登録申請へ向け地域連携協議会に組織体制強化

当協会が共同主催する日本最古の修験の道「葛城二十八宿」を再興する連続シンポジウムは、和歌山県による日本遺産登録申請準備の開始に伴い、「葛城二十八宿・地域連携協議会」として組織体制を強化しました。

## 【葛城二十八宿とは】

「葛城二十八宿」は山伏で有名な修験道の開祖・役行者(えんのぎょうじゃ)が開いた山岳修行の道です。世界遺産の熊野古道よりも古い歴史を持ち、自然に宿る神々に通じて民の平和な暮らしに生かす、日本人の精神の根幹を形作ってきた文化の始まりの道ともいえます。

「葛城二十八宿」は和歌山市から始まり、和歌山県北部、大阪府南部、奈良県西部の和泉・葛城・金剛の山々にある二十八の経塚を辿って行きます。

## ●協議会の概要

### 【協議会の目的】

日本人の心の原点である修験道を見つめ直す機会を国民に提供するとともに、外国人観光客に日本文化の起源に触れてもらう機会を提供することを本協議会の活動目的とします。

「地域に点在する遺産を『面』として活用し、発信することで、地域活性化を図る」という日本遺産（文化庁）の理念に賛同し、「葛城二十八宿」の日本遺産登録も視野に入れ活動を行います。

### 【協議会の役割】

1. 情報センターとして葛城二十八宿の史実・史跡の資料を包括的に蓄積するとともに、各地域の活動状況を収集し把握する。
2. 広報センターとして葛城二十八宿の存在と価値を広く知らしめる。
3. 各地域が連携して行う催事等の企画および実施を行う。
4. 各地域の相互交流を促す情報交換会と現地を踏査するフィールドワークを主宰する。

## 【和歌山県～大阪府～奈良県の18自治体にまたがる二十八の経塚】



大阪府	柏原市 河南町 河内長野市 和泉市 岸和田市 泉佐野市 阪南市 岬町
奈良県	王寺町 香芝市 葛城市 御所市 五條市
和歌山県	橋本市 かつらぎ町 紀の川市 岩出市 和歌山市

各経塚付近には古刹・名刹が多くある

# 過去のシンポジウム

## 第1回：和歌山県和歌山市加太友ヶ島（葛城二十八宿第一経塚） 2017年1月19日実施



聖護院の山伏の引率で友ヶ島（虎島）の行場である崖を登りシンポジウム参加者が修験を体験しました

## 第2回：大阪府河内長野市（葛城二十八宿第十二経塚、第十三経塚） 2017年4月16日実施



河内長野市の経塚と行場は四十八滝といわれるほど多くの滝を見ながら歩く美しい山中にあります

## 第3回：和歌山県紀の川市中津川 2017年11月26日実施



千年をこえる修験の歴史を代々引き継いでこられた葛城五鬼御子孫の西野初雄氏のご案内で踏査